

(別添)

重複・頻回受診者等に係る訪問指導後の効果等の状況(平成〇〇年度)

(単位:円)

訪問指導実施対象者	訪問指導実施人数 (延べ人数) A	訪問指導実施人数 (実人数) B	Bのうち指導後の改善効果を把握した人数 C	Cのうち指導後の改善により、選定基準に該当しなくなった者の人数 D	改善が見られた者に係る1ヶ月あたりの効果額(医療費ベース) E	D以外の者で受診動向について何らかの改善が見られた人数 F	Fの者に係る1ヶ月あたりの効果額(医療費ベース) G	訪問指導の改善割合 (D+F)/B	1人当たりの1ヶ月当たりの効果額 (E+G)/(D+F)	備考
頻回受診者										総費用額 円
重複受診者										
重複頻回受診者										国庫補助額 円
計										

○重複受診者等選定基準

- ・診療日数が1カ月で15日以上(3ヶ月連続) (頻回受診者)
- ・レセプト枚数が1カ月で3枚以上(3ヶ月連続) (重複受診者)
- ・同一診療月内に同一傷病名のレセプトが1カ月で3枚以上(3ヶ月連続) (多受診者)

○訪問指導対象者選定基準の範囲内であるが、何らかの改善が見られたかどうかの判断基準(Fの該当基準)

- ・診療日数が1カ月で14日以下(3ヶ月1ヶ月ないし2ヶ月)または 訪問後3ヶ月平均日数が基準月日数より減
- ・レセプト枚数が1カ月で2枚以下(3ヶ月1ヶ月ないし2ヶ月)または 訪問後3ヶ月平均件数が基準月件数より減
- ・同一診療月内に同一傷病名のレセプトが1カ月で2枚以下(3ヶ月1ヶ月ないし2ヶ月)

- (注) 1 各広域連合において設定した、「訪問指導対象者選定基準」及び「訪問指導対象者選定基準の範囲内であるが、何らかの改善が見られたかどうかの判断基準（Fの該当基準）」を、現在、例を記載している欄に記入願います。
- 2 効果の把握にあたっては、訪問指導が必要と判定した診療月と訪問指導実施月の翌3ヶ月間の診療状況（医療費の比較）とを比較して算出してください。
- 3 複数回訪問指導を行った場合について、この表では、原則として1回目の指導について記入してください。
- 4 C欄の人数は、指導後の受診状況を確認した者の人数を記入すること。したがって必ずしも改善された者の人数とは限らないことに留意すること。
- 5 D欄は、重複受診者等訪問指導対象選定基準に該当しなくなった者の数を、E欄は、その者に係る訪問指導が必要であると判定した診療月と訪問指導実施月の翌3ヶ月間の診療報酬明細書等の1ヶ月当たりの平均額の差を記入してください。
- 6 F欄は、Dで記載した者以外で改善が見られた者の人数（頻回受診者：指導後3ヶ月間において、同一医療機関での受診が4回以上減）を、G欄は、その者に係る訪問指導が必要であると判定した診療月と訪問指導実施月の翌3ヶ月間の診療報酬明細書等の1ヶ月当たりの平均額の差を記入してください。
- 7 「訪問指導対象者選定基準」及び「訪問指導対象者選定基準の範囲内であるが、何らかの改善が見られたかどうかの判断基準」については、各広域連合において独自に設定したものを記入してください。
- 8 再指導を行った者の集計についてはこの様式を準用し、B欄以降を活用して別様にて作成してください。